

# 小麦WCSの収穫適期の判断指標

## ■水分低下の特徴

- ◇小麦穂部と茎葉部をあわせた全体水分の推移は穂部水分の低下に大きな影響を受けます。
- ◇小麦WCS収穫最適期の全体水分が60%になる時期は、穂部水分は55%以下に低下しています。

## ■小麦WCS収穫最適期の小麦外観上の特徴（タマイズミ）

- ◇その時期の小麦外観を色で判断すると、穂はやや赤みを帯び、また、穂首・茎葉部ともやや黄色味を帯びています。
- ◇出穂後の日数で判断すると、およそ出穂後30日（穂揃い期から約27日後）が目安とできます。  
（出穂期：茎数の約5割の穂が出た時期、穂揃い期：すべての穂が出揃った時期）

収穫適期

収穫最適期

2011/5/30  
出穂+25  
(穂揃い+22)

穂 62.4 %  
茎葉 70.6 %  
全体 68.0 %



2011/6/2  
出穂+28  
(穂揃い+25)

穂 60.8 %  
茎葉 71.1 %  
全体 67.5 %



2011/6/4  
出穂+30  
(穂揃い+27)

穂 52.3 %  
茎葉 65.1 %  
全体 60.3 %



2011/6/6  
出穂+32  
(穂揃い+29)

穂 47.8 %  
茎葉 65.0 %  
全体 58.2 %



乳酸菌添加材を併用することで、早期収穫（60%以上の高水分収穫調製）時の栄養価向上が期待できる可能性があります。

麦WCSの収穫作業時期は刈遅れないことを優先して作業計画を立ててください。

三重県農業研究所 伊賀農業研究室

〒519-5202 三重県伊賀市森寺松ヶ谷 1240  
TEL 0595-37-0211 FAX 0598-37-0251